

観光基軸の町づくりを！

委員長 遠藤 義光

審査の状況・結果

景気低迷で経営不振。
支援を決定。

◆補正予算

・(株)あいらんど経営支援補助金

昨今の景気低迷を受けて観光客など利用客の減少などによる経営不振で、シーズンオフを迎えるにあたり資金ショートが確実な状況であり、従業員の給与の支払いなどに困難を来さないように対策するもの。

委員からは「今の社会情勢の中では経営は成り立たないのでは、施設のキャパを縮小すべきだ。」「それぞれの施設は町村合併前の各地域で雇用の場の創出と地産地消を進めるためにつくられたもので、地域には必要な施設である、また大きなイベントを開催するにも無

くてはならないものだから存続すべきだが、この際、新しい感覚で経営することが求められる。」「観光を基軸にまちづくりをすすめるとしているのに何でもかんでも閉めりゃ良いものでない。合併後2,000人も人口が減っていくなかで雇用の場の確保は特に重要だ。町の振興に対して夢がないようではダメだ」「早急に臨時株主総会を開かせて株主の声を出すべきだ」などの厳しい意見が出されたが、従業員の給与の支払い、雇用の場の継続の観点から、今回の支援は致し方ないものと判断した。

今後、隠岐の島町としても経営陣の刷新も含め、独自に経営改善計画を策定し、それに基づく運営方針を速やかに検討するよ

う求めた。

執行部からは、今までにも公認会計士や島根県経営者協会などにもアドバイスをうけているが、指定管理料は4年前から社会情勢が変わったにもかかわらずそのままである。これを契機に指定管理料などの見直しをする。とともに対策を検討するとの答弁があった。

2,000万円は町の一般財源をあてる。

総務産業建設常任委員会に付託された一般会計及び各特別会計補正予算、条例制定、指定管理者関係、陳情等の案件は審議の結果、継続審査とした陳情案件を除きすべて全会一致で「可決すべし」とした。その主なものを報告する。



隠岐の島町観光協会

・愛の橋橋梁架替事業費
(測量・ボーリング調査・設計)減額補正は国の社会資本整備事業交付金の減額内示によるもの。消防自動車の通れるよう整備する地元要望で総額3億円の工事費が見込まれる。平成29年以降の完成とのことであるが、早期改修に取組むよう指摘した。

調査事項

◆ビューポートホテル

貸貸料について
平成24年4月まで5年間据え置きになっていたが、昨年3・11の東日本大震災の影響や、景気低迷もさらに進むなど利用客も低迷しており、現状では賃貸料の支払いは困難である。設立当事、高利で借り入れた設備投資資金の金融機関への償還が終了する平成25年度まで、2年間の猶予期間を設けることはやむをえないと判断した。

・隠岐観光協会に対する法令外負担金
172万9千円については島根県の補助事業が終了したことを申請時に説明不足があり、今後ヒヤリングをきちんと言うよう指摘した。



農地保全管理された田園風景

◆農業公社について
分社化について12月10日の執行部の中間報告においては①新組織に移籍する職員の退職一時金に関する事項。②事業運営に対する町の支援と支援期間に関する事項。については理事会との協議の結果、事柄について合意に至り、覚え書きを互いに提案するという紳士的な協議を行ってきた。理事会は農業公社職員労働組合と協議するなかで、町との合意の事柄を組合に伝えたにもかかわらず、組合が一方的に島根県労働委員会に幹旋の申し込みをしたことは、理事会が日頃から理事会の機能と責任を果たしていないのではないかと執行部に対して指摘した。

竹島対策特別委員会

委員長 前田 芳樹

▼竹島領有権問題を国際司法裁判所へ提訴する件

全国37道府県議会を始め多数の自治体から国際司法裁判所へ提訴するよう求める意見書が政府に提出され、政府は毅然として単独提訴をするとして総理大臣が公言していたが、今だに提訴をしていない。早く提訴をするべきだと要求する意見書を島前と連携を取り3月定例会で発議しようとなった。

▼議会からの要望事項3項目に関する件

標柱看板3基を来年度設置、島根県印刷の啓発パンフレット7000部は本町も少し負担を検討中、啓発バッチは更に検討して行く。との執行部からの返答であった。早期実現に向けて取組むよう指摘した。

▼島前3町村議会と議会間連携行動を取る件

島前3町村議会から今後は歩調を合わせて行動を取って行くとの返答があり、本町議会が発信源となり隠岐町村議長会を通じて情報提供をして行く方向となった。

▼竹島問題の渉外窓口を拡充させる件

島根県竹島資料室の閲覧者がここへ来て6倍に増加、本町への問い合わせも急激に増加、本町の渉外窓口の拡充が必要ではないかと執行部の見解を求めた。「来年度からは総務課人員を1人増加させることを検討している」との返答。

▼全国風揚げ大会へ参加してアピールした件

10月14日、隠岐いぐり風に「返せ、竹島、島と海」という強いメッセージ

ジを託して大会に参加した。全国から集まった風揚げ愛好者の方々が「竹島だ、返せ、はその通りだ」と集まって来てくれた。「隠岐へ来て竹島のこと」が解ったよ」「帰ったらみんなに伝えておくよ」などと理解を示す人達もあった。マスコミ各社も取材に訪れ、島民観客の注目も浴び、内外に向けて竹島問題を啓発する点では有意義な大会参加であった。



全国風揚げ大会に参加

隠岐広域連合議会

平成24年第三回臨時会が、11月10日に開催されたので、概要について報告する。

上程された議案は、工事請負契約の締結が1件と4会計の補正予算の計5件であった。

それぞれの、概要は次のとおり。

▼工事請負契約の締結

仁万の里新築工事の一般競争入札が、10月30日に執行され、金田建設・門脇工務店特別共同企業体が落札したので当該企業体と、5億4810万円円で工事請負契約を締結。



仁万の里 ほのぼの工房

▼隠岐島前病院の補正予算

島根県医療ネットワークへの加入（画像中継サービス電子カルテ連携事業）に係る費用を238万2千円増額（財源は全額県補助金）

▼隠岐病院の補正予算

島前病院と同様の理由で2460万2千円を増額（財源も同様）



▼一般会計の補正予算

次期高速船「レインボージェット」の母港、別府港において整備工場からと、レインボージェットからの汚水処理について西ノ島町の下水道への接続工事が必要となったため、工事費1575万円を追加。

▼障がい者支援施設事業の補正予算

仁万の里入所児童の送迎バスのエンジンが故障（焼き付き）したため、老朽化している当該バスを更新するために、33万6千円を増額するものである。

上程された、5議案は慎重審議の結果、いずれも全会一致で可決された。

報告者 是津輝和



工事中の仁万の里